

NPO法人 ふうんていあタウン工房

# ふろたん通信



2018年2月26日 広報センター No. 24

「ふろたん工房」設立のキッカケになったのは、2013年3月のURワングル同好会創立40周年記念海外遠征・ピクトリア山でした。4月15日発行の同好会機関紙「渡り鳥通信」910号で登山報告をしています。その同好会が今年も45周年記念事業として、「飯能・自然の回廊を歩く」という企画を2018年2月19日付の「渡り鳥通信」1014号で発信しました。

平成30年最初の「ふろたん通信」のトップ記事は、「渡り鳥通信」から抜粋しての紹介です。

## 1. URワングル同好会3月行事 飯能・自然の回廊を歩く

【45周年記念事業 第一弾!】「ワングル百名山/飯能ひうち山」(234m)のご案内

●実施日：平成30年3月24日(土) \*雨天順延

●集合場所：飯能駅南口(西武池袋線)

●集合時間：9:30

●歩行ルート(歩行距離/約10km 約4時間)

飯能駅南口→割岩橋(赤いアーチ橋)→美杉台公園→朝日山→龍崖山公園→ひうち山234m(昼食)→龍崖山246m→赤根峠→美杉台→ゆうひ山→もみじ橋→飯能駅南口(3時ごろ)

『飯能・自然の回廊』について

1990年代カーブが脚光を浴びていた時代、郊外丘陵地/飯能で環境共生型の水と緑のレクリエーション空間を街づくりに活かす構想があった。

その後、歴代の公団担当者やワングル有志たちが事業地区内に「見晴らしが丘のある街づくり」を実現させた。「ひうち山」と命名した一つの見晴らし丘は、現在、地元観光マップや市販の山地図(昭文社「奥武蔵2017年版」等)に「燧山」として掲載・認知され、地元でも気楽に登れる低山として人気が高く、今年3月には、西武鉄道/駅長おすすめウォーキングルートの一つとして選ばれました。ワングル活動の一環で誕生したルート「飯能・緑の回廊とひうち山」を、ワングル45周年事業の第一弾として歩きたいと思えます。

■ 参加申込期限・・・3月22日(木)までに

■ 問合せ・申込先：(地元ワングル部員がご案内いたします。)



・朝倉(首都圏ケーブルメディア) [asakura@scm.or.jp](mailto:asakura@scm.or.jp)

・高田(URニュータウン事業本部) [m-takada01@ur-net.go.jp](mailto:m-takada01@ur-net.go.jp)



★古来のワングル同好会の行事だから紹介しているだけではありません。飯能・自然の回廊での活動は「ふろたん工房」にも繋がっているのです。ワングル同好会(石原力・高田睦夫・鶴見隆志)で執筆した「本の中で現場見学・公園の登山道」を、ミャンマー語訳した小冊子にしてふろたん工房設立準備室が発行、2014年3月のピクトリア山第2次調査隊(赤川隊長)がナマタン国立公園事務所に届けています。



## 2. ふろたんインタビュー(第9回)「年中行事と室礼」+「江戸東京学」のまちづくり

ふろたんインタビューは2014年2月10日、高円寺の「ぼれやあれ」でスタートしました。



あれから丁度4年がたった2月9日、同じ場所で行った第9回は、法政大学で長くエコデザイン研究に取り組んでこられた高橋賢一さんと、奥様で室礼研究家の久子さん、お二人そろってのインタビューです。日本住宅公団時代の思い出話から今取り組んでいること、自然と共生し感謝する日本の伝統行事や歴史的な環境・文化インフラのことなど、興味深いお話を伺いました。 ※今月中にホームページにサイトアップの予定です

## 3. ミンガラバー・ユネスコクラブ 「スタディツアー-2018」報告会

通信NO.23でご案内した、バゴー・チャイティョー・ヤンゴンを訪れるミンガラバー・ユネスコクラブのスタディツアー(2/9~15)の帰国報告会が行われます。ぜひご参加ください。

日時：3月21日(水・祝日) 14:00~

会場：「ぼれやあれ」

杉並区高円寺南3-44-16 TEL.03-3316-0315



### ■事務局だより

3月の情報交換会「山木会」(毎月第3木曜日開催)は15日です。どなたでも気軽にどうぞ!(於：「びるまの豎琴」渋谷区恵比寿2-8-13 7F TEL.03-5420-1686)